

南阿蘇村交流フェスタ

あそのみなみのあきまつり



10月19日、「あそ望の郷くぎのみのあきまつり」が開催されました。初めぱらついていた秋雨も午後には上がり、各団体の露店が賑わいました。

ステージには今年9月に完結した村民音頭「なんごうの唄」の作詞作曲を手掛けたアーティストの三宅光幸さんが登場。その後、はくすい保育園児が元気いっぱいに踊りを披露しました。

会場では新米のつかみ取りも行われ、準備された300キロ以上の量が午後1時頃にはなくなるほどの人気でした。

- ①オープニングのふるまい餅投げ
- ②南阿蘇太鼓の演奏
- ③村民音頭「なんごうの唄」を作詞作曲した音楽ユニット「ミヒマルGT」の三宅光幸さん
- ④はくすい保育園児による「なんごうの唄」披露
- ⑤南阿蘇中学校吹奏楽部の演奏
- ⑥包括連携協定を結んだ上天草市の海産物などの販売
- ⑦姉妹町村の新上五島町から五島うどんや鮮魚の販売
- ⑧新米を両手いっぱいにすくう来場者
- ⑨「ねぎ箸」でそば早食いに挑戦した地元農家の皆さん
- ⑩自衛隊熊本地方協力本部阿蘇地域事務所の展示ブース